姶良市総合戦略の改定内容について(H29.3.29 第 2 版)

１）重要業績評価指標（ＫＰＩ）の数値修正

基本目標１　働くなら“あいら”　地域資源を活かした活力ある産業、雇用をつくる
施策２　まちの活力を育む商工業の振興・・・P12(総合戦略に掲載されているページ、以下同じ。)

ＫＰＩ項目	基準値（H26）	目標値（H31）	備　考
誘致企業数 →　立地協定数	９社　→　12 社	17 社　→　20 社	H27 実績　16 社 H28 見込　19 社

《修正理由》
　誘致企業数をＫＰＩとして設定していたが、既存企業の増床や事業所の拡充等についても、まちの活力を育む商工業の振興となるため、今回それらを含む「立地協定数」をＫＰＩとすることとします。これに伴い、基準値及び目標値を修正します。

基本目標３　子育てなら“あいら”　結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現する
施策３　自立を育むための市民総ぐるみによる協働の子育て・・・P19

ＫＰＩ項目	基準値（H26）	目標値（H31）	備　考
小・中学生の毎朝の朝食摂取率	80% → 95%	90%　→　100%	H27 実績　95.6% H28 見込　95.4%
小・中学生の地域行事への参加率	小学生 66% → 70%	小学生 70% → 75%	H27 実績　66.2% H28 見込　68.0%
	中学生 46% → 42%	中学生 50%	H27 実績　46.4% H28 見込　40.2%

《修正理由》
　「小・中学生の毎朝の朝食摂取率」及び「小・中学生の地域行事への参加率」の基準値の根拠として、「全国学力・学習状況調査」の全国の数値を参考に、本市の状況も踏まえ各項目に応じて数値を設定したものでした。
　今回「全国学力・学習状況調査」における本市の小学６年生と中学３年生の数値をＫＰＩ項目の数値として修正するものです。

基本目標４　住むなら“あいら”　生涯すこやかで、いきいきと暮らし、支え合える地域をつくる
施策２　活力あるコミュニティ活動、市民活動の推進・・・P22

ＫＰＩ項目	基準値（H26）	目標値（H31）	備　考
生涯学習講座等年間参加者数	846 人 →　2,957 人	1,000 人 →　3,100 人	H27 実績　2,788 人 H28 見込　2,788 人

《修正理由》
　ＫＰＩとして「生涯学習講座等年間受講者数」を掲げていましたが、策定時に「生涯学習講座等」の捉え方が明確でなく、公民館講座受講者数のみを掲載していました。
　今回、社会教育課が管轄する女性学級「あやめ学級」や高齢者学級「ゆずり葉学級」等の成人学級や、公民館講座修了生による同好会や自主学習グループ等の自主講座への参加者数を含めたものをＫＰＩとして設定します。（目標値として、基準値の約５%増を設定）

２）重要業績評価指標（ＫＰＩ）の上方修正

基本目標１　働くなら“あいら”　地域資源を活かした活力ある産業、雇用をつくる
施策２　まちの活力を育む商工業の振興・・・P12

ＫＰＩ項目	基準値（H24）	目標値（H31）	備　考
工業従事者数	2,358 人	2,400 人 → 3,380 人	H27 実績　3,074 人 H28 見込　3,074 人

《背景・修正理由》
目標を達成した要因は、企業立地等による事業所数の増加に伴う従業者数の増加であると思われます。
平成 27 年度実績が 3,074 人であり、当初の目標を上回ったことから、今回更なる高い目標値に見直します。(27 年度実績を基準として、年５％ずつの増加を見込みました。)
《その他》
工業従事者数は、経済産業省により２年に１回行われる「工業統計調査（製造業)」数値のため、平成 27 年度実績は、平成 26 年基礎調査の数値を用いました。

基本目標２　訪れるなら“あいら”　魅力あるまちをつくり、新しいひとの流れをつくる
施策３　地域の魅力と資源を活かした観光の振興・・・P16

ＫＰＩ項目	基準値（H26）	目標値（H31）	備　考
年間観光入込客数	1,132,441 人	1,200,000 人 →　1,296,000 人	H27 実績 1,281,206 人 H28 見込 1,283,326 人
市内年間宿泊者数	61,001 人	64,000 人 →　76,000 人	H27 実績　73,212 人 H28 見込　75,257 人

《背景・修正理由等》
各種イベント等の実施により、観光入込客や宿泊者数の増加が図られました。特に宿泊者数は、イオンタウン姶良の建設工事関係者の滞在も宿泊者数増に影響したものと思われます。
平成 27 年度実績が年間観光入込客数 1,132,441 人、市内年間宿泊者数 73,212 人であり、当初の目標を上回ったことから、更なる高い目標値に見直すものです。
《参考：実施事業等》
・各種イベントの実施
H27：Ｔﾎﾟｲﾝﾄﾚﾃﾞｨｽｺﾞﾙﾌﾄｰﾅﾒﾝﾄ、市制施行５周年記念イベント（新 BS 日本の歌）等
H28：第５回全国薬草シンポジウム IN あいら、Ｔﾎﾟｲﾝﾄﾚﾃﾞｨｽｺﾞﾙﾌﾄｰﾅﾒﾝﾄ等
・県地域振興推進事業や魅力ある観光地づくり事業（姶良市魅力アップ事業など）
・地方創生加速化交付金（あいらびゅー号の運行、着地型観光「カモコレ」の実施等）
・各種誘客施設の整備（さえずりの森ピザ釜、ふれあいパーク、掛橋坂、花園寺跡公園、蒲生郷町割り巡り駐車場（くすくす館横)、重富海岸駐車場整備等）
・その他、H26 地方創生先行型「観光者サポート事業」の波及効果　など

３）重要業績評価指標（ＫＰＩ）の下方修正

基本目標４　住むなら“あいら”　生涯すこやかで、いきいきと暮らし、支え合える地域をつくる
施策１　いきいきと暮らせる健康づくり、地域づくりの推進・・・P21

ＫＰＩ項目	基準値（H25）	目標値（H31）	備　考
特定健診受診率	48.5%	65%　→　60%	H27 実績　48.0% H28 見込　49.1%

《背景・修正理由等》

国が定めた第２期特定健康診査等実施期間における目標値が、市町村国保は 65%から 60%に改められたためです。

保険者種別毎の目標について~~(案)~~

特定健診実施率

○ 全国目標である70%の実施率を保険者全体で達成するために、各制度毎の保険者が、実績に比して等しく実施率を引き上げた場合の各制度毎の実施率を保険者種別毎の目標値とする。

※　ただし、特定健診の実施率は、受診を希望しない者がいることなども想定し、90%を上限として計算を行う。

特定保健指導実施率

○ 全国目標である45%の実施率を保険者全体で達成するために、各制度毎の保険者が、実績に比して等しく実施率を引き上げた場合の各制度毎の実施率を保険者種別毎の目標値とする。

※　ただし、特定保険指導の実施率は、受診を希望しない者がいることなども想定し、60%を上限として計算を行う。

メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率

○ 保険者毎の実績をフォローする指標として、活用することについては推奨。

※　別途、医療費適正化計画における国・都道府県が達成するべき目標としては活用する方向。

※　第１期と異なり、メタボリックシンドロームの該当者及び予備群は、特定保健指導対象者ではなく、内科系８学会が策定した基準に該当する者とする。

＜保険者種別毎の目標~~(案)~~＞

保険者種別	全国目標	市町村国保	国保組合	全国健康保険協会（含む船保）	単一健保	総合健保	共済組合
特定健診の実施率	70%	60%	70%	65%	90%	85%	90%
特定保健指導の実施率	45%	60%	30%	30%	60%	30%	40%

以前は 65%でした。

４）具体的な施策やＫＰＩ項目の文言の追加・変更等

基本目標３　子育てなら“あいら”　結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現する
施策１　結婚・妊娠・出産・子育ての支援体制の整備・・・P17

【具体的な施策の追加】

⑥婚姻に伴う新生活等の経済的支援の実施

《追加理由》
国の少子化対策重点施策交付金を活用した「平成 29 年度姶良市結婚新生活支援事業」を実施のために追加します。
この事業は、新たに婚姻した世帯に対し、住居費や引越し費用の助成を行う事業です。

基本目標４　住むなら“あいら”　生涯すこやかで、いきいきと暮らし、支え合える地域をつくる
施策２　活力あるコミュニティ活動、市民活動の推進・・・P22

【具体的な施策の追加】

⑪地域住民の活力を活かした拠点整備の推進

《追加理由》
中山間地域において、校区コミュニティ協議会等の地域住民の活力を活かした拠点整備を推進していくために追加します。

【重要業績評価指標（ＫＰＩ）名称の変更】

変更前：校区コミュニティ協議会自主事業数
変更後：まちづくりプラン（校区振興計画）策定数

《変更理由》
校区コミュニティ協議会が自主的に実施する事業数に対して、目標値を立てることは、無数にある事業に対して上限を設けることとなり、総合戦略の趣旨からもＫＰＩ設定には不向きでした。
現在、中長期的なまちづくりとして、全 17 校区コミュニティ協議会に対し「まちづくりプラン（校区振興計画）」の策定を推進しているため、この策定が総合戦略上においてもＫＰＩ設定すべきものであるため変更することとします。